

7 月 11 日 : VN 指数は 980 ポイントに接近

VN 指数は 3 日続伸で心理的な節目とされている 980 ポイントに近づいた。しかし、投資家の買い需要は乏しく、節目を超えるまでには至らなかった。

ホーチミン取引所では 169 銘柄が上昇し 130 銘柄が下落した。VN 指数は 4.98 ポイント上昇 (0.51%) し 978.63 ポイントで取引を終えた。出来高は 4.6% 上昇し 1 億 6160 万株だったが、売買代金は 3.3 兆ドンと 13.6% ほど下落した。

FLC ファロス建設 (ROS) は相対取引で 410 万株、売買代金にして 1270 億ドンが取り引きされたが、変わらずの 29,200 ドンで取引を終えた。出来高トップは FLC グループ (FLC) で 1050 万株、ROS がそれに続き 780 万株だった。

FLC グループの建設資材を手掛ける GAB はストップ高の 14400 ドンまで上昇した。出来高が 130 万株だった。

サイゴンハノイ証券によると、銀行セクターが相場を牽引するだろうとのことだった。ベトコムバンク (VCB) は 2.1% 上昇し 74,600 ドンで取引を終えた。石油ガスセクターも上昇した。メキシコ湾の生産停止を受けて 4 営業日連続の上昇となった。

外国人投資家の買い越しはポジティブな兆候で、短期的な相場の上昇トレンドをサポートすることになっている。しかし、取引は乏しく、投資家は高値掴みを警戒しているとのことだった。

SHS のアナリストによると、投資家は FRB パウエル議長の議会証言を注視するべきだとのことだった。このイベントが相場の変動をもたらすおそれがあるからである。

議会証言の初日には、パウエル議長は米国経済は期待外れの工業、インフレ率の鈍化、貿易摩擦の激化により脅威にさらされているということを確認した。

バオベト証券によると、パウエル議長は経済成長の鈍化について語るとみられており、必要があれば利下げをする準備があることを示すだろう。多くの投資家は今月末に利下げを実施すると考えているとのことだった。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.87 ポイント (0.83%) 上昇し、106.01 ポイントで取引を終えた。出来高は 17.3%、売買代金で 18.3%減少し、それぞれ 2730 万株、3960 億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。